

CONTENTS

- 6 | 本書の使い方
- 8 | 執筆者一覧

第1部 経過観察から何を学ぶのか

- 12 | 序文：経過観察から何を学ぶのか
宮地建夫

第2部 10年、20年以上の経過観察から学び伝えたいこと ペリオ、エンド(炎症のコントロール)編

- 20 | 臼歯部咬合崩壊をともなう重度慢性歯周炎を咬合再構成した
歯周補綴の予後
梅原一浩
- 38 | 組織の反応を見極め最適な治療計画を決定する
北島 一
- 50 | 重度歯周病罹患者に対する歯周組織再生療法および長期管理の条件
木村英隆
- 64 | 患者に学んだ歯周病治療
小西昭彦
- 76 | 包括的なアプローチ
橋本 等
- 88 | 歯列不正をともなう歯周病患者への総合治療
治療後14年経過症例から学ぶ“炎症と力のコントロール”
松井徳雄

第3部

10年，20年以上の経過観察から学び伝えたいこと 欠損補綴・修復(力のコントロール)編

- 102 強い“力”が関与した重度慢性歯周炎の25年経過症例
池田雅彦
- 114 患者可撤式ブリッジを選択して
初診から25年，長期経過からみえてくるもの
景山正登
- 126 防げなかった歯根破折
クレンチングを有する欠損症例の15年経過
熊谷真一
- 138 咬合の安定がもたらした23年経過症例
榊 恭範
- 152 欠損補綴の限界を知ったディープバイトの一例
鷹岡竜一
- 168 インプラント長期症例から学ぶ
高木幸人
- 180 長期経過からみる咬合診断とそのコントロール
田中秀樹
- 190 口腔顔面痛(顎関節症，筋痛)と力と炎症
三つ巴合戦の26年
谷口威夫
- 204 形態再付与(リシェイピング)後，20年経過症例から考察する
筒井祐介
- 222 初期の臼歯部咬合崩壊
MTM の応用と微細な変化の観察・処置で，臼歯部咬合崩壊に対応した26年経過症例
森 克栄/松本 理